

小谷場中だより

川口市立小谷場中学校

〒333-0857

川口市大字小谷場1156番地

TEL 048(267)1055

FAX 048(267)1069

教育目標〈自主 協働 創造〉 校訓〈力の限り〉

12月号 令和5年12月1日

いのちの歌

校長 藤川 悟

時の過ぎるのも早いもので、今年もあと1ヶ月となりました。新人戦では関東大会まで勝ち進んだ硬式テニス部が、11月11日に小金井公園庭球場で試合が行われました。2回戦で、シード校に敗れてしまったのですが、春に向けて、この経験を生かし、さらに力をつけていって欲しいと思います。

また、11月15日には、合唱コンクールが川口市リリア・音楽ホールで行われました。各クラスとも、この日に向けて練習やリハーサルに取り組んできました。1年生は、一生懸命ひたむき歌う姿をみることができました。2年生は、心のこもったハーモニーを聞くことができました。審査していただいた先生からは、「昨年から本当に伸びた。」というお褒めの言葉をいただきました。水上自然教室で聞いた「翼をください」も感動しましたが、それ以上に私の心に響きました。3年生は、どのクラスもレベルが高く、さすが最高学年にふさわしい歌声でした。クラスの合唱もよかったです。各学年の合唱もたいへんよかったです。とくに3年生の「いのちの歌」は、私も大好きな曲だったので、あの歌を合唱で聞けて、自分の子どもが生まれてきたときのこと等、走馬灯のように頭の中をめぐるようになって、たいへん感動しました。私の後の席が3年生の保護者席だったのですが、3年生が歌い終えたとき、多くの保護者のすすり泣く声が聞こえました。全体を通して、音楽に心で触れ合うとても素晴らしい1日となりました。

保護者・地域の皆様には、2学期の本校教育活動にご理解ご協力ありがとうございました。なかなかご期待に沿えないところもありましたが、来年への課題とし、今後の教育活動に邁進してまいります。保護者・地域の皆様がよいお年を迎えられますように、心よりお祈りいたします。来年もどうぞよろしく願いたします。

いのちの歌

生きてゆくことの意味 問いかけるそのたびに
胸をよぎる 愛しい人々のあたたかさ
この星の片隅で めぐり会えた奇跡は
どんな宝石よりも たいせつな宝物
泣きたい日々もある 絶望に嘆く日も
そんな時そばにいて 寄り添うあなたの影
二人で歌えば 懐かしくよみがえる
ふるさとの夕焼けの 優しいあのぬくもり

本当にだいじなものは 隠れて見えない
ささやかすぎる日々の中に かけがえない喜びがある

いつかは誰でも この星にさよならを
する時が来るけれど 命は継がれてゆく
生まれてきたこと 育ててもらえたこと
出会ったこと 笑ったこと
そのすべてにありがとう
この命をありがとう